

# 国文学研究

## 第百六十六集

「奉教人の死」における〈内破〉と〈疎外〉

——「黄金伝説」を手がかりに——

篠崎 美生子 1

メディア実験と他者の声

——安部公房「チャンピオン」と「時の崖」——

鳥羽 耕史 12

漢語辞書の語釈

今野 真二 24

〈書評〉

松本弘毅著『古事記と歴史叙述』

谷口 雅博 35

藤尾健剛著『漱石の近代日本』

山本 亮介 39

新刊紹介 彙報 編集後記

前 号 目 次

石見の人麻呂

——『万葉集』巻二の中でどう読むか——

高 松 寿 夫 1

湊佐之男命の「心之清明」

赤 塚 史 12

マドコオフスマ考

工 藤 浩 24

『諸道聴耳世間狙』巻一の一の素材

——道修町の小西家と当代——

穴 戸 道 子 36

「人外」の「信仰」

——「海城發電」試論——

金 子 亜由美 48

中島敦における知識人の問題

——あらたな「山月記」論をめざして——

柳 井 宏 夫 59

〈書評〉

久保朝孝著『古典解釈の愉悅 平安朝文学論攷』

高 橋 亨 70

山田利博著『源氏物語解析』

松 岡 智 之 73

渡邊裕美子著『新古今時代の表現方法』

中 川 博 夫 77

高梨素子著『後水尾院初期歌壇の歌人の研究』

酒 井 茂 幸 83

柳沢孝子著『私小説の諸相 魔のひそむ場所』

勝 又 浩 86

鳥羽耕史著『1950年代「記録」の時代』

中 山 弘 明 90

中村 明著『文体論の展開——文藝への言語的アプローチ——』

はんざわかんいち 93

新刊紹介 彙報 編集後記